

# 令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会 会議録

日 時：令和元年5月19日（日）午前10時開会、11時閉会

場 所：宮沢賢治イーハトーブ館講義室

出欠者：出席委員 岡村委員、外山委員、牧野委員、伊藤諒子委員、浅沼委員、小原委員、伊藤賢治委員、岩田委員

欠席委員 中村委員、多田委員

説明者 市川生涯学習部長、安藤館長、藤井副館長

会議開催前に出席者が自己紹介した。

## 1 開 会

## 2 あいさつ（概要）

安藤館長

お忙しいなか、会議にご出席いただきありがとうございます。宮沢賢治イーハトーブ館は賢治に関する研究拠点施設であり、展示場には企画展示をし、賢治の紹介をしています。また、売店では賢治に関する図書等を販売し、賢治に親しんでいただいています。

皆様からご意見をいただき、イーハトーブ館の運営を充実していきたいと考えています。  
市川生涯学習部長

イーハトーブ館の運営について、ご審議をよろしく申し上げます。

連休の10日間は、宮沢賢治記念館や童話村には昨年の1.5倍の来館者があり、駐車場に入りきれない状況もありました。今年もイーハトーブフェスティバルを予定しており、PRをしていきたいと考えています。

観光も大事ですが、イーハトーブ館は研究に基づいた展示等について学会のご協力をいただいております。市としても、賢治についての資料収集や調査研究を学会のご協力をいただきながらしっかりとやっていきたいと考えています。

## 3 議 事（概要）

岩田会長が議長になり議事を進行（宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項）

### (1) 平成30年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業報告について

藤井副館長が、平成30年度年報により平成30年度の事業概要を説明した。

外山委員

入館者数はどのようにカウントしているか。高校生・学生や小・中学生はどのようにして把握しているか。

藤井副館長

入館者数は、受付においてカウンターで把握しており、実数です。小・中学生や高校・大学生は、修学旅行等の団体の場合はわかるし、あとは外見で把握している。

岩田会長

外壁工事は完了か。内装工事の予定はないか。

藤井副館長

外壁工事は30年度で完了した。内装工事については、現時点では予定していない。

上記の質疑があり、原案のとおり承認された。

(2) 令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画について

藤井副館長が、令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画（案）について、別紙資料により説明した。

伊藤諒子委員

Annual（宮沢賢治学会イーハトーブセンター機関誌）には、一般の方の情報も載せているか。

安藤館長

発行された図書・論文等は、寄贈図書以外にも学会においてできる限り把握し、網羅的にAnnualにビブリオグラフィとして掲載している。

外山委員

通用口のドアチェック（ドアクローザー）がはずされているが、安全のために取り付けるべきではないか。

藤井副館長

ドアチェックがあると、なぜかドアが重くなり、高齢者や障がい者等の力の弱い方がドアを開けるのが大変だったためはずしていた。「指挟み注意」の表示をしていた。至急対応する。

（※5月20日午前9時にドアクローザー取り付け済）

浅沼委員

早池峰と賢治の展示館では、トイレのドアクローザーの金具を月2回点検している。こまめに気をつけている。

岡村委員

イーハトーブ館の展示物の盗難防止のため、防犯カメラを設置した方がいい。

外山委員

検討した方がいいかなと思う。

安藤館長

展示物の盗難防止対策は必要と考えている。

藤井副館長

展示物の盗難防止対策は必要と考えており、検討していきたい。

小原委員

すぐに設置したほうがいい。

岩田会長

地方セミナーの開催予定は。

安藤館長

学会で公募しているが、現在決定しているものはない。

外山委員（企画委員会委員長として）

地方セミナー開催要綱を示して待っているだけではなく、積極的に掘り起こしていかなければならないと学会の企画委員会で共通認識を持った。イーハトーブ館で開催するセミナーももっと入場者が多いほうがいい。セミナーの宣伝期間が短かったため、計画作成の準備をもっと早くスタートするよう、企画委員の担当の割り振りをした。

9月の理事改選があつて委員会がスタートして委員が変わっても、事業計画を引き継いでいけるようにしていく。宣伝・広報にも力を入れていく。

岩田会長

入館者数は29年度より多くなった。小・中学生、高校生にアピールする講演・セミナーの開催を検討していつてはどうか。

安藤館長

夏季セミナーの際に、若年層向けとして、宮沢賢治と恐竜のスペシャルイベントを企画している。小・中学生に関心を持っていただくことは、今後も考えていく。

外山委員

入館者数の回復は、企画展とその関連イベントを実施した結果だろう。ホールでのイベントも色々行われている。ものがたりグループ☆ポランの会の朗読会は9回目になったが、徐々に固定客がついている。入館者数を増やすことは可能だ。

伊藤諒子委員

イーハトーブ館に行きたいが、交通が不便でなかなか行けないとの高齢者の声がある。

外山委員

バリアフリーの課題もある。

伊藤諒子委員

アプローチ階段が怖いとの高齢者の声がある。

牧野委員

車いすで行けることをチラシ等で説明することが必要だ。

安藤館長

市広報にイベントを周知する際に、お知らせしていきたい。

藤井副館長

傾斜地の立地であり物理的に対応が難しい面もあるが、高齢者・障がい者の車イス等利用口としている通用口にスロープの設置、エレベーターの改修、南斜花壇のトイレの洋式化等、できる範囲で高齢者・障がい者対応を進めている。

上記の質疑が行われたが、原案のとおり決定された。

岩田会長

宮沢賢治イーハトーブ館の将来的な管理・運営のあり方については、宮沢賢治学会イーハトーブセンターの運営とも関連して、審議会閉会後に各委員から意見・提言をいただくこととします。

4 その他

5 閉 会